



再選めざす 日本共産党 そねはじめレポート

2010年 12月 19日発行

第33号

そねはじめ事務所

114-0032

北区中十条2-11-6

Tel: 3907-1135

Fax: 3906-3225

2011年こそ、くらしを守る政治の前進を

「原体剣舞の少年」切り絵 そねはじめ



日本共産党区議団9名の議席をかちとり、 高齢者・子育て家族・若者が安心できる北区政を

本年も一年間、日本共産党にご支援いただき、本当にありがとうございました。ございました。

今年も、年明けに第二十五回の党大会が開かれ、春には北地区委員会とそねはじめ事務所が、現在の中十条のビルに移転しました。

夏の参議院選挙では、国民の立場をつらぬき、小池晃さんを先頭に前進をと奮闘しましたが、残念

ながら後退を喫してしまいました。

来春の地方選挙までに何としても弱点を克服し、若い世代を含め有権者の信頼と期待を回復できるようにがんばりぬく決意です。

区議団9名が区政前進の力に

北区議団は9名で、区議会で2割を超える議席は衆議院なら、約百名に当たります。

この力を生かし、介護保険

の認定ランク下げの改善、社会保険病院の公的存続、認可保育園の大幅増設、若者の区内企業への正規採用支援など、区民の皆さんの世論を力に、前進をかちとってきました。

この力をしっかりと守り抜き、北区でだれもが安心してくらする区政の実現をめざします。



子育て人口が増え、23区で最も高齢化した北区で安心してくらすために

北区は23区で最も高齢化が進んでいます。共産党以外の「オール与党」にささえられた花川区政の高齢福祉予算は、23区で一人あたり下から7番目。区でやるべき高齢者対策まで、自治会や民生委員に負わせています。一方、不況で若者はじめ就職難が深刻です。

子育て世帯にも共働きが増える中で、保育園の待機児が急増中です。

日本共産党北区議団とそねはじめ前都議は、北区財政の史上最高のためこみ基金390億円を計画的に活用して、特養ホームと保育園の待機をゼロにし、高齢者・子育て・住宅・教育の安心を実現するよう切実な問題解決にあたります。

裏面をぜひお読みください



赤羽駅前、社会保険病院の存続署名を訴えるそねはじめ前都議（右）